

古文書解読A1 ～江戸時代の古文書に親しむ～

授業の目的と概要

「くずし字」と呼ばれる独特な字体で記された江戸時代の古文書について学び、その基礎的な解読能力を身に付ける。

古文書の画像をテキストとして、書かれている内容や解読の方法を説明する。あわせて、受講者が自ら古文書を読みこなすことができるようトレーニングを行う。

授業では古文書の画像をテキストとして配布し、解読の方法を実践的に学習する。授業中で解読を行う箇所についてはあらかじめ指示するので、受講者は予習してきた内容に基づいて順番に解読文を板書し、教員が添削する。その上で、解読文についてのディスカッションと内容の解説を行う。こうした輪読形式でテキストを読み進めることを通じて、「くずし字」の基礎的な解読能力を身に付ける。

担当教員	経済学部 青柳 周一 教授
開講曜限	木曜日 2限 (10:30～12:00)
開講日	4月10、17、24
	5月1、8、15、22、29
	6月5、12、19、26
	7月3、10、17
会場	彦根キャンパス
受講形態	授業は対面で実施する。 変更等ある場合は、SUCCESSなどを通じて早めに周知する。
教科書情報 (補足)	参考書：『くずし字解読辞典 普及版』／児玉幸多著、東京堂出版、1993。必ず購入すること。 参考文献一覧：古文書の内容と関わる歴史的な事項については『国史大事典』ほか歴史辞書類を参照。図書館で閲覧するか、Japanknowledge Libでも検索できる。